

## ニューライフの「たから」(〇)vol.10

10回目を迎えた“ニューライフのベテランさんとフレッシュさん”のコーナーです。相変わらず“フレッシュさんの呼び名と実年齢に違和感がある”でお馴染みのこのコーナーですが、記念すべき10回目のお宝は？ まずは療養課のベテラン介護士さんです!!

・年齢と勤続年数は？

**30代後半で 勤続13年**

・長年続けられている理由や気をつけていることは？

最近ではコロナの影響から行けておりませんが、年に4回ほど来園していた東京ディズニーランドや温泉など、プライベートでの旅行を楽しみに仕事を頑張っています。

適度にリフレッシュすることで、気持ちを切り替えてストレスを溜めないようにしています。

今はコロナの収束と次の旅行を楽しみに頑張っています。

30代になってからは、休日に整体へ行ってみるなど「心」だけでなく「体」のメンテナンスもするようになりました。

・今後の抱負や目標は？

入職時と比べて疲れやすくなりましたので、体力をつける為にも何か運動に挑戦したいなと思っています。

続いて勤続年数が3年以内のフレッシュさんです。こちらも療養課の介護士さんです。

・年齢と勤続年数は？

**53歳で 勤続1年目(今年の5月に入職)**

・この仕事について理由や入職したキッカケは？

高校を卒業してからはサービス業で働いておりました。

介護の仕事は経験者の友人が多く、私にも出来るかなと思い挑戦したのがきっかけです。

こちらへ入職させて頂いた経緯は、以前の職場も介護老人保健施設だったので経験を活かして働くことが出来るのではないかと思います、お世話になりました。

・今後の抱負や目標はありますか？

ご利用者さんや職員、職場に慣れるよう頑張ります！よろしくお願いします！

### 【今後のイベント告知】

#### 7月23日(土) 夏のお楽しみ会

今年は各階交代制で、射的や魚釣りにバルーンアートなど夏祭りの縁日を体験して頂く予定です。メインイベントには、当施設でも久々の復活となる職員によるマツケンサンバIIを企画しています。本番に向けて慣れない踊りに悪戦苦闘中ではありますが、ぜひぜひ楽しみにしてください。

#### 9月18日(日) 敬老会

今年度は当施設が開設して30周年という記念すべき年であり、皆様と楽しい時間を共有できるよう様々な催しを企画しております。

### 編集後記 “ぼえる” : 第13回!!

短すぎる梅雨が明け、厳しい暑さが続く毎日ですが如何お過ごしでしょうか？

気候や気温で四季の移り変わりを楽しむことが難しくなっているように感じる近頃ですが、つばき7月号では季節のイベントをお届け出来たのではないかと思います。長期化する新型コロナウイルスへの対応や戦争問題など、世の中つらいニュースばかりが目につけてしまいます。せめて身近で過ごす誰かとは笑い合えるような日々を送ってほしいと思うばかりです。それではまた笑顔で10月にお会い致しましょう。

# つばき



## 5月5日は「端午の節句」！！

5月といえば「端午の節句」！当施設でも例年通り「鯉のぼり」の出番です。疲れているとついつい下を向きがちな日もありますが、青空を泳ぐ「鯉のぼり」に目を惹かれるこの時期は身体も心も自然と上向きになれます。

さらに今年は通所リハビリのご利用者が作成してくださった「特製鯉のぼり」も施設を彩ってくれました。前号のつばきでもご紹介した「ひな人形」など、毎度素晴らしい作品の数々に感動しております。

現在、触発された一部の職員達の間で小物作りが流行しています！

さらに！さらに！今年は1階ロビーにて鎧兜が飾られました！重厚な佇まいが、まるで高級旅館のような雰囲気醸し出しています。ご利用者方からも「立派だね」「見事」と太鼓判を頂きました



### 忘れちゃならないのが行事食です！今年は洋風ランチが振る舞われました♪



- ・パエリア
- ・ミートローフ
- ～トマトクリームソースがけ～
- ・バジルサラダ
- ・コンソメスープ
- ・豆乳抹茶プリン



## 7月7日は「七夕」！！

お次は7月の「七夕」です。例年通り各階に笹を配置し、願い事を託した短冊を掲げてもらいました。一昨年より続くコロナの収束や健康長寿といった願いが目立つ中、戦争の終結や世界平和などの願いも多く見られました。皆様の願いごとが叶い、誰もが幸せでいられる世の中になってくれることを切に

願います。ちなみに、笹を彩る七夕飾りの数々はご利用者の方々に作成を手伝って頂きました。

### こちらは七夕当日の行事食です♪



- ・鯛めし
- ・揚げ浸し (かぼちゃ、ささみ、豆腐)
- ・寒天よせ～りんご酢ソースがけ～
- ・すまし汁 (鶏団子、冬瓜)
- ・七夕ゼリー

## 第54回...「時事(じいじ?)コラム」～気になる3つの視点を紹介～

最近のニュースから、今回は3つの視点について紹介いたします。

ひとつ目は「ICTや介護ロボットの導入で現在の基準人員より少なくても介護ができるか？」職員の深刻化している人材の不足や処遇の状況を踏まえ、将来に必要な介護サービスを提供し続けられるか。

そこで、センサーをはじめとするテクノロジーのフル活用やLIFEデータなどビッグデータの解析、介護助手の配置などで人員配置基準を緩和して介護ができるのかを実証実験する考えだ。見守り機器や体位変換ベッド、電子カルテ化、インカムなどを導入した介護施設は業務の負担軽減になるのか。すでに、昨年介護報酬改定でICTの導入している特養などで、夜間の人員配置基準の緩和を実施しています。今後、実証は老健でも行っていくという。介護施設の業務内容、業務時間、働く環境、心理的負荷、ケアの質、利用者の状態などのデータを取り、介護報酬改定につなげていくようだ。

ふたつ目は「要介護1・2の利用者の通所介護サービスを総合事業へ移行するの？」総合事業とは、介護保険法で「介護予防・日常生活支援総合事業」と定められ市町村（主に地域包括支援センター）が中心となって、住民などの多様な主体が参画し、地域の支え合い体制づくりを推進することで、要支援者などに対する効果的かつ効率的に支援するものですが、地域差があり進んでいない地域が多いようです。ただ、これが現実になるとどういった現象が起きるのか。

○ケアマネは居宅介護支援事業者？地域包括支援センター？

○介護報酬の減額により通所事業所が減少しないか

コロナ禍での通所の利用控えで、さらに悪化している可能性があり撤退する事業所も出てくるのでしょうか。

最後に、新型コロナウイルスのB.A.5にほぼ置き換わって第7波の到来であろうと考えてよいと思います。さらに悩んでいるのが熱中症です。新型コロナと熱中症の両側面から対策のための室内換気と温度調整をし、窓を開けて外気を取り込み、こまめにエアコンで温度を調節しましょう。外出時は、人が密集していない場所ではマスクをとるよう呼びかけています。ただし、これはマスクをとっても良いと勘違いしている方々が見受けられることも確かですので、感染拡大を念頭にマスクの着用をお願いします。

私たち施設ではもうこりこりなので、ひとりひとりが感染しない・させない・施設に持ち込まないことを徹底して運営していく思いです。

文責：松岡秀典

## 災害は待ってくれない！曇天での「防災訓練」！！

6月29日に防災訓練を行いました。今回は日中に火災が発生した場合を想定しての訓練でした。昨年度までは新型コロナウイルス感染症拡大防止のため訓練も縮小して行っておりましたが、今回は感染対策を実施しながら久しぶりにご利用者を屋外まで避難誘導することが出来ました。当日は曇天で暑さも和らぎ、この時期としては絶好の避難訓練日和？でした。3階からの出火想定に対して各課の職員が火災発見→初期消火→通報→避難誘導といった一連の行動を的確に遂行したことで無事にご利用者の避難を終えることが出来ました。



災害発生時の行動は日常業務と異なり日々慣れていくというものではありません。年3回の防災訓練を有意義な訓練とし、いざという時に的確な行動が出来るよう今後も頑張っていきます。